

募集期間 2017年3月15日～4月15日

(定員になり次第、受付を終了します)

募集対象 国籍、資格、年齢は問いません。

- ◆様々な政策課題をビジネスで解決することに関心のある人
- ◆まちおこしや地域の新たな産業の創出にチャレンジしたい人
- ◆企業で新規事業開発を担当する人
- ◆政策決定プロセスを学びたい人

募集人数 受講生 20名程度

このほかに九州大学の大学院生が参加します。修了者には九州大学総長が修了証書を授与します。

聴講生 50名程度

共通講義の聴講のみ

受講費用 受講生 30万円

(資料代、合宿費を含む。但し、合宿は一部個人負担があります。消費税込)

聴講生 5万円

(共通講義14コマ分・消費税込)

申込方法 インターネット受付

下記ホームページに掲載されている申込用紙に必要事項をご記入の上、地域政策デザイナー養成講座事務局へメールでお申し込み下さい。

申込用紙は下記URLからダウンロードできます。

<http://planqd.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ ご不明な点は、実行委員会事務局へお問合せ下さい。

受講生の皆様へ

人類は、歴史的な転換期を迎えています。従来の価値観の基盤であった民主主義や資本主義でさえ、見直しが求められています。一方で、人工知能やIoT、ビッグデータ解析など先端技術を活用した新しい価値創造も始まっています。我が国でも、第5期科学技術基本計画で謳われた「超スマート社会」の構築を目指して、種々の社会改革が論じられています。国際化の進展や国内の急速な人口減少に対する対応策として、ダイバーシティをキーワードとして多様な価値観を持つ人々が多様に活躍出来る新しい社会の構築が求められています。

九州大学「地域政策デザイナー養成講座」が養成する「地域政策デザイナー」とは、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来を俯瞰できる広い視野を持って、実現可能な政策を立案し実行できる人材です。「官」「民」を問わず、社会像や地域像をデザインし、それを実現できる人材を育てる場として、本講座を今年も開講します。

本講座は、経済界や自治体との連携によって、2010年度に開設されました。民間や自治体で働く社会人と大学院生が受講生となり、7年にわたって様々な現代的課題について議論と提案を続けてきました。本講座で育った受講生は、九州を中心としたいろいろな地域創生の現場で活躍し、多様なネットワークを築いています。明日を担う志を持った受講生のご参加をお待ちしています。

安浦 寛人

国立大学法人九州大学 理事・副学長
地域政策デザイナー養成講座実行委員会 理事長



実行委員会の構成

- 名誉会長 久保 千春 国立大学法人九州大学総長
- 理事長 安浦 寛人 国立大学法人九州大学理事・副学長
- 理事 中川 正裕 一般社団法人九州経済連合会専務理事
- 理事 高谷 真平 一般財団法人九州地域産業活性化センター専務理事
- 理事 高木 直人 公益財団法人九州経済調査協合理事長
- 理事 川崎 隆生 株式会社西日本新聞社代表取締役会長
- 監事 堤 雅彦 堤公認会計士事務所長
- 事務局長 谷口 博文 国立大学法人九州大学学術研究・産学官連携本部教授

実行委員会事務局

(公財)九州経済調査協会 総務部

(担当：養成講座係 元木・案浦)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館5F

TEL:092(721)4900 FAX:092(721)4906

メールアドレス PlanQD@kerc.or.jp

8th PlanQD

Human Development for Regional Policy Design

募集要項

2017年度(第8期)
九州大学産学連携セミナー
地域政策デザイナー
養成講座

期間 2017年4月～2017年11月まで

会場 JR博多シティ・九大サテライトキャンパス 他

主催 地域政策デザイナー養成講座実行委員会

<http://planqd.kyushu-u.ac.jp>

この講座は、グローバルな視野で地域の未来をデザインし、それを実現できる人材を育成するためのさまざまなプログラムを用意しています。

*** 企画立案能力**



＝課題を発見し、解決策を練り上げる能力＝を鍛えます。

*** 実践力**



＝産学官の強力なネットワークづくり＝に参画します。

*** パッション**



＝課題解決に向けた熱い思いとチャレンジ精神＝をグループワークの中で共有します。

【頭脳】と【腕力・フットワーク】と【ハート】の3つが兼ね備わっていなければ、現実の社会を変え、世界を変えることはできません。

他人ごとではなく、自分ごととして、社会課題を解決する！多様なメンバーの多彩な能力を結集して、そのプロセスをこの講座の中ですべて体験してもらいます。

九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター(QREC)
センター長 谷口 博文

【プロフィール】

1954年福岡生まれ 東京大学法学部卒 1977年大蔵省入省
主計局主計官、国土交通省政策統括官などを経て2009年九州大学教授
2013年九州PPPセンター長、2015年QRECセンター長

本年度の研究テーマ

「新たなダイバーシティの潮流と価値創造 ～九州の自立的成長戦略～」

ダイバーシティ＝多様性の重要性が叫ばれるようになって久しい。女性活躍や雇用機会均等の文脈だけではない。ダイバーシティは成長を生み出すイノベーションの源泉である。多様な人材や文化や価値観は、その化学反応・新結合によって社会に新たな価値を創出する。

人工知能やIoTなど高度な情報通信技術は誰でも簡単に利用できるようになった。第4次産業革命は世の中を飛躍的に便利にし、今や人の生き方、働き方を大きく変えようとしている。そうすると、人口減少が進み深刻化する地域の課題や世界規模の問題を解決に導いてくれるかもしれない。

そこで本年は、自分が解決したいと切実に考える社会課題を取り上げて、現場に密着しながらダイバーシティをキーワードにソリューションを考える。その課題をビジネスによって、社会活動によって、あるいは政策によって解決し、社会的価値を最大とするような提案を行う。



修了生の声

(HPより抜粋)

授業の進め方

主な講師

福留 和樹さん (6期生)
株式会社福岡銀行

本講座は、講義内容以上に濃いグループワークが特徴です。仕事以外でこんなに真剣に議論する機会は、中々ないと思います。



市川 智子さん (4期生)
市川智子税理士事務所

税理士という職業にとどまらず、視野を広げたいという思いから受講しました。待っていたのは、仲間と共に考え、議論し、悩み、笑い、楽しむ、濃厚な日々でした。社会人が受講するのは確かに大変ですが、受講して得られるものは、その大変さを吹き飛ばすほど大きいものだと思います。



- 4月～11月の隔週土曜日、午後12時に講義とワークショップを行います。(全15回)
- 聴講生は、最先端に行くベンチャー企業の経営者、地域の活性化や働き方改革に取り組むリーダー、政策担当者・有識者から、新しい時代の産業と働き方について、講義を受けます。
- 受講生は講義のほか、ワークショップと2回の合宿(志賀島・台湾)に参加します。ワークショップでは取り組みたい社会課題別にグループを編成して、現場でインタビューなどのフィールドワークを行い、新たなソリューションを提案します。これを報告書にまとめ、研究発表会で発表します。

- 崎田 恭平 日南市長
- 藤沢 久美 シンクタンク・ソフィアバンク代表
- 龍造寺 健介 本多機工株式会社 代表取締役社長
- 佐々木 久美子 株式会社グルーヴノーツ 代表取締役会長
- モンテ・カセム 学校法人立命館理事補佐 同大学政策科学部特命教授 (ほか 起業家、大学教授など(敬称略))

開催日程

4月26日、5月13～14日、5月27日、6月10日、6月24日、6月25日、7月15～17日、7月22日、8月19日、9月9日、9月30日、10月21日、11月4日、11月11日、11月18日